



広島ガンバ・コンソート 第10回演奏会

# 古町家で古楽

2018年5月27日(日)

開演: 15:00 (開場14:30)

会場: かしわや 入江



## プログラム

❖ 作者不詳

ナツメグとジンジャー

❖ ジョン・ウィルビー (1574?-1638)

4つのマドリガルより

花咲く丘 / ああ、無慈悲なアマリリス

❖ ディエゴ・オルティス (1510頃 -1570頃)

「変奏論」(16世紀のディミニューションの手引)より

テノールによるレセルカーダ 第1番 / 第2番

マドリガーレとディミニューション集より

❖ チプリアーノ・デ・ローレ (1515-1565)

マドリガル 甘き木陰に

❖ ジローラモ・ダラ・カーサ (15??-1601)

甘き木陰に によるデイヴィジョン

❖ クリストファー・シンプソン (1605頃-1669)

「デイヴィジョン・ヴァイオル」より

グラウンド上のデイヴィジョン 第2番

❖ アウグスト・キューネル (1645-1700)

2台のヴィオラ・ダ・ガンバのためのソナタ

第5番ハ短調セレナータより ソナティーナ / アリア

❖ マラン・マレ (1656-1728)

「ヴィオール曲集」第3巻 組曲イ短調より

プレリュード / グラン・バレ

❖ ジョン・ダウランド (1563-1626)

ラクリメ、または7つの涙より 真実の涙 /

エセックス伯のガリアルド

演奏: 広島ガンバ・コンソート <http://viol.jpn.org/>

猪原 龍吉 / 上山 摩希子 / 河合 初子

川田 直子 / 竹鶴 紘子 / 茶之原 修

中野 洋子 / 武藤 彰良 / 余越 繁美 (50音順)

..... 休憩 .....

### ヴィオラ・ダ・ガンバについて

ヴィオラ・ダ・ガンバとは脚にはさんで弾く弦楽器の総称です。(ヴィオラ=弓奏弦楽器、ガンバ=脚という意味) viole ヴイオル(仏)、viol ヴァイオル(英)とも呼ばれます。縦に構えて演奏する姿は、チェロに似ていますがチェロは腕(=ブラッチョ)に構えるヴァイオリン族(ヴィオラ・ダ・ブラッチョ)の低音楽器であり、弦の数や調弦、弓の持ち方などが異なる別の楽器です。

指板には、弦と同じガット(羊腸)を巻いたフレットが7本あり、これによって指で押さえても開放弦と同じような澄んだ、長い響きが得られるのだそうです。

弓はヴァイオリン族が上から持つのに対して、鉛筆を持つように下から木の部分を持ちます。そして木の部分と毛の間に中指を通して、曲げた中指で毛の圧力を調整しながら弾きます。

大小さまざまな大きさのヴィオラ・ダ・ガンバによる合奏をコンソートといいます。ガンバ特有のまろやかな音が重なり、融け合う響きは特に16~17世紀半ばのイギリスで王侯貴族や裕福な市民にもてはやされました。



弓の持ち方  
(Franz Josephの肖像画より)